

第7回ニッセンライフ基金がん患者団体支援助成金
「女性のためのがんフォーラム ～輝く自分でいつづけるために～」実施報告書

平成29年3月7日

NPO法人 Spes Nova
理事長 塩尻 瑠美

1. 実施概要

企画名：NPO法人 Spes Nova 主催 フォーラム 2016

女性のためのがんフォーラム ～輝く自分でいつづけるために～

目的：女性そのものを1人の人間全体として支えていくために、美しく生きることを含めた包括的な啓発・支援の一助となるようなフォーラムの開催

開催日時：2016年12月17日（土）12:15～16:00

開催場所：かなつくホール（横浜市神奈川区区民文化センター）

参加者：223名（演者、運営スタッフを含む）

参加費：無料

主催：NPO法人 Spes Nova

Spes Nova フォーラム 2016 実行委員会

後援：神奈川県、横浜市医療局、横浜市立大学、医療法人平和会平和病院

協力：NPO法人プラチナ美容塾

プログラム：

- 12:15～12:20 開会挨拶 医療法人平和会平和病院 院長 高橋 修
- 12:20～12:50 講演1 「乳がんの最新治療戦略-2017を展望する-」
昭和大学医学部乳腺外科教授 ブレストセンター長 中村 清吾
- 12:50～13:20 講演2 「乳がんを美しく治す-乳房再建のこれまでとこれから-」
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科部長 佐武 利彦
- 13:20～13:50 講演3 「子宮を温存して子宮がんを治す」
独立行政法人地域医療機能推進機構 相模野病院 婦人科診療顧問
北里大学医学部産婦人科 客員教授 上坊 敏子
- 13:50～14:20 講演4 「あなたらしく、輝きつづけるために-がんとともに働く-」
聖路加国際病院乳腺外科 ブレストセンター長 山内 英子
- 14:20～14:35 -休憩-
- 14:35～14:55 もっと元気に、明るく、輝くあなたでいて欲しい！
-ビューティーケア・トータルコーディネート紹介-
NPO法人 プラチナ美容塾 理事長 伊藤 文子

15:00～15:55 パネルディスカッション 「折れた心を再生するには？」

座 長：国立がん研究センターがん対策情報センター長

若尾 文彦

パネリスト：

中村 清吾

上坊 敏子

山内 英子

佐武 利彦

読売新聞社編集局社会保障部 次長

本田 麻由美

15:55～16:00 閉会挨拶

NPO 法人 Spes Nova 副理事長

青芝 俊弘

司 会：東京医科歯科大学血液内科 特任助教

坂下 千端子

※講演前および休憩時間を利用して、会場内で管理栄養士や専門・認定看護師によるがん相談を実施。

2. 内容詳細

●講演 1 「乳がんの最新治療戦略－2017 を展望する－」（中村先生）

- ・乳がんのうち多くが「ホルモン依存性乳がん」であり、ホルモン療法の対象となる。

閉経前：LH-RH アゴニスト製剤

閉経後：アロマターゼ阻害薬

エストロゲンの作用をブロックする抗エストロゲン薬は閉経の有無にかかわらず使用できる。

- ・余暇運動と乳がんについて（国立がん研究センター予防研究グループ）

総身体活動量が高い女性は、閉経後においてホルモン受容体陽性の乳がんになりにくい。過体重の女性では、週 1 回以上の余暇運動に参加する人は乳がんになりにくい。

この研究で、運動には免疫機能を改善したり体脂肪を減らして閉経後女性のエストロゲン濃度を下げることを通じて乳がんを予防することができる可能性があると考えられる。

- ・新たな免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）について

これまでの免疫療法では、免疫機能の攻撃力を高める方法が中心であった。

最近、がん細胞が免疫の働きにブレーキをかけて、免疫細胞の攻撃を阻止していることがわかってきた。

がん細胞によるブレーキを解除することで、免疫細胞の働きを再び活発にしてがん細胞を攻撃するようにする新たな治療法が考えられた。

（免疫チェックポイント阻害薬が実際に使用されるようになった）

●講演 2 「乳がんを美しく治す－乳房再建のこれまでとこれから－」（佐武先生）

- ・乳がんで乳房を失った患者さんにしか理解できない苦しみがある。

ボディイメージの喪失×精神的苦痛

- ・乳房再建術には人工物を使用した再建と自家組織を使用した再建がある。
自家組織を使用した手術方法にもいくつかの方法がある。
- ・「穿通枝皮弁法」について。
 - 温かく柔らかで自然な乳房再建
 - 身体への負担が少ない乳房再建（身体の運動機能を犠牲にしない）
 - オーダーメイドの乳房再建
- ・術前、術後の乳房再建症例を術式別に写真で紹介。
- ・日本における乳房全摘後の一次再建率について。
- ・乳房の大きさ・形による乳房再建の術式選択について。
- ・乳房再建は乳がん患者さんのこれからの人生をポジティブに変えるパワーを持っている。

●講演3 「子宮を温存して子宮がんを治す」（上坊先生）

- ・女性の骨盤内の構造について
- ・部位別がん罹患数および死亡数について
- ・子宮頸がんとう子宮体がんの違い。
 - 原因、自覚症状、危険因子、組織型
- ・子宮頸がんとう子宮体がんの治療の基本にはまず子宮摘出があるが、妊娠ができなくなることは若い女性にとって大問題である。
- ・子宮頸がんの発症年齢と出産年齢は同時期のため重大な疾患である。
- ・高リスク型 HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染からがんへの進行について。
- ・若年（40歳未満）子宮体がんの特徴は高分化型類内膜腺癌が多くを占める。
- ・子宮頸がん
 - 上皮内腫瘍は子宮温存治療が可能
 - 早期がんも子宮温存治療が不可能ではない
 - 子宮温存のためには検診が不可欠
- ・子宮体がん
 - ホルモン療法が有効な場合もある
 - 治療成績は子宮摘出よりもはるかに低い
 - 分娩後は子宮摘出が推奨される
 - 不妊で不正出血がある人は、体癌の検査が必要

●講演4 「あなたらしく、輝きつづけるためにーがんとともに働くー」（山内先生）

- ・数で学ぶ「がん統計」
 - 罹患数、死亡数、受療患者数、生涯リスク、医療費
- ・がん治療と職業生活の支援に向けて
 - がんの罹患数は増えている
 - がん患者の3人に1人は働く世代
 - 医療の進歩に伴い、がんが慢性疾患として位置づけられるようになった

外来で治療を続けることも可能になってきた

がんとともに働くこと、それを支援することがとても重要になっている

- ・がんに罹患していることにより、仕事や家事ができないことによる年間労働損失
最大1兆8千億円
- ・就労に関する悩みに対するグループ療法をモデルにした問題解決プログラムの実施。
- ・就労を困難にする問題のひとつ「ケモブレイン」について。
- ・身体活動は乳がん患者の予後に影響するか。

すべての研究で診断後の身体的活動による有意義な全死亡リスクの減少が報告されている。(2015年乳癌学会 乳癌診療ガイドライン)

●ビューティーケア・トータルコーディネイト紹介（プラチナ美容塾）

3名のがん体験者によるスライドを使用したがんと向き合う現在までの歴史を紹介。プラチナ美容塾のスタッフによるトータルコーディネイトによって美しく変身した3名それぞれが舞台へ登場。

前向きに明るく輝くがん体験者の登場に感動の拍手。



●パネルディスカッション（若尾、中村、上坊、山内、佐武、本田、坂下）

【参加者からの質問】

「トリプルネガティブの診断で不安、どのように精神状態を保てばよいか」

「放射線治療後の再建は可能か」

「脂肪移植の保険適用は？」

「子宮頸がんのワクチンに不安があるががんの予防はできるのか」

「スピリチュアルケアはどれぐらい浸透しているのか」

「遺伝性乳がん検査の保険診療は？予防のための乳房切除症例数は？」

「乳房再建術・脂肪注入の費用は？」

【折れた心を再生するには？】

患者—がんの告知を受け入れられない状態で治療を決めなければならなかった。

患者—気持ちを支えてくれたのは、同じ立場（がん患者）、ピアのサポートだった。

患者—医師からの「一緒に頑張りましょう」の言葉がうれしかった。

医師—チーム治療に患者さんも含めることで一緒に解決していけると感じる。

医師—手術前に患者さんの仕事や家族などバックグラウンドを知る、コミュニケーションを大切にしている。

医師—がんの治療には告知が大切、医療者との話は大切。

医師—心が折れてしまった時、色々なことに感謝することで違う見方ができると思う。

患者—いつまで生きられるのかを決めるのは医師ではなく自分ではないか？

患者—何か（誰か）の役に立つことで喜びを感じることができる。

医師—悪いことばかりではない。ひとりで悩まない。



3. 事業の成果

●参加者の感想

- ・超一流の先生のお話を一度に聞いて大変勉強になりました。
- ・運動が必要、明日から開始します。
- ・3名のスピーチ&ファッション キレイで涙が出ました。
- ・今までがんを隠していましたが、同じ経験をしている人と話してみたいと思いました。
- ・娘もいるので一緒に検診を受けようと思います。
- ・遺伝子レベルの新しい治療が進んでいるようなので、ますますオーダーメイド治療が進むことに期待を持た。
- ・患者さんに対して熱心な愛情で治療に臨んでいただいていることが嬉しかった。
- ・働く時期の発病が会社と家庭に影響大で大変興味がありました。
- ・自分を伝えることの大切さがよく分かりました。
- ・人生観までありがとうございました。

●講師・スタッフの感想

- ・ビューティーケア・トータルコーディネートでみなさんが自信を持って輝いていく、その様な現場に関わらせていただき幸せな時間でした。
- ・がん体験者の方が自分らしく輝いて生活できるよう、明日から私の仕事にも生かしていきたいと思います。
- ・先生方ご自分の体験を率直に語られたのに感動しました。いい経験になりました。
- ・素晴らしいフォーラムでしたね。私も勉強になりました。
- ・貴重な経験をさせていただき感謝いたします。
- ・とても豪華な先生方のご講演を拝聴し、とても勉強になりました。他の分野の先生方の活動や考え方に触れることは刺激になって良いですね。

●まとめ

女性特有のがんについてテーマを絞っての開催、第一線で精力的に活躍される諸先生方の講演は現在治療をされている方だけでなく、多くの参加者へ最新の情報をわかりやすく紹介できたと考える。

チーム医療について患者さんの参加にも触れているが、ビューティーケア・トータルコーディネートにおいてがん体験者のヒストリーが紹介された際、参加者が涙しながら拍手する様子から、多くの方に勇気と希望を与えることができたと考える。

Spes Nova とはラテン語で「新しい希望」、今回のフォーラムに参加された方にとって新たな希望が芽生えたことと思う。

4. 添付書類

- ①収支決算書 ②プログラム ③チラシ